



学校法人志賀学園
久之浜こども園
令和7年9月30日

稲刈りの終わった田んぼのあぜ道に色鮮やかな彼岸花が咲き、秋らしい風景が見られます。数日前まで、連日の暑さの中で「この暑さ、いつまで続くのでしょうか!!」という会話が聞かれておりましたが、ここ数日、朝晩めっきり涼しくなり、ようやく秋の気配が感じられる清々しい季節になりました。

さて、運動会はお楽しみいただけましたでしょうか？

今年度は『スマイルまんかい、はじけるうんどうかい』をテーマに一人ひとりが日々の保育の中で楽しみながら子ども達が主体的に取り組んできました。さくらさんは、開会式や鼓隊の役割などを自分がやりたいものを選びました。また、ダンスの振り付けなども自分たちで考え、グループごとにユニークな表現を見せてくれました。「地球」「気球」「扇風機」「はなび」など子ども達が考えたパラバルーンの表現シーンや、すみれ組さんのいつも行っている玉入れの後の玉の片づけまでも競争にしてしまうおもしろさ、いつも遊んでいるアンパンマン・バイキンマンのひっくり返しゲームをばら組さんの種目に取り入れたことなどで、子どもの日々の生活が運動会に反映され無理のない楽しい運動会になりました。

これまで長年行ってきた運動会のために練習するという考え方から、日々の保育の中で経験したこと、出来るようになったことを、運動会の場で発表するという考え方に変え取り組んだことにより、子ども主体の運動会になったように思います。この経験が子ども達の次なる自信へと繋がっていくものと思います。保護者の皆様の温かいご声援ありがとうございました。

運動会は終わりましたが子ども達は今週も園庭で年齢を問わず玉入れやパラバルーンをして遊んでいます。9月中は気温の高い日が続いたため、園庭での運動は多くはできませんでしたがこれから涼しくなるにつれ、運動会で経験したことが、園全体で共有され楽しんでいけるといいなあと思っています。

10月6日は十五夜です。十五夜にはススキを飾り、団子やさつま芋、栗などをお供えます。昔は子ども達が近所のお宅を訪れて回り、お供え物を『お月見どろぼう』して良いという習慣がありました。子ども達がお供え物を盗むことで、月からの使いが来たと考えられ、お供えする側も子ども達の健やかな成長を願い縁起が良いと喜んだとされています。

この日は久之浜地区の民生委員の方たちもおいでになり昔の良き風習をお話していただく予定です。ご家庭でもお子様と一緒に中秋の名月を眺めてみてはいかがでしょうか・・・●